

# 生活単元学習指導案

日 時 平成20年11月10日(月) 5校時  
学 級 3名  
場 所  
授業者 ○ ○ ○ ○

1 単元のテーマ 「クリスマスツリーボードを作って、クリスマスの準備をしよう」

2 単元について

(1) 単元における願い

- ア 協力して大きなツリーボードを作りあげてほしい。
- イ ツリーボード作りのそれぞれの分担に集中し、継続して取り組んでほしい。
- ウ ツリーボード作りにやりがいや喜びを持って取り組み、満足感を分かち合ってもらいたい。

(2) 単元観

本単元は、木材を加工して大きなクリスマスツリーボードを作り、クリスマスに向かう季節を楽しみに学校生活を送ろうとするものである。最終的には、12月の単元「いよいよクリスマス！オーナメントをみんなで作って、ツリーボードを飾ろう！」で全校生徒、職員、お世話になっている方々、家族を招待し、共にクリスマスの装飾を楽しもうという交流の機会を設定するので、ポスターや招待状の作製なども行う。

昨年の12月にも製作しているが、今年は生徒が○名増えたことにより、さらにダイナミックなツリーボードとなるよう、デザインを変え、4人(担任含む)の分業が充実するように留意した。それぞれの作業にやりがいを感じ、製作活動に意欲を持ってほしい。

活動は、木材を切り、ヤスリをかけ、塗装し、組み立てる作業である。道具は主に、のこぎり、バンドソー、ドリル、ミシンを使用する。

教師の対応は、生徒が主体的に活動できる状況を事前に整えておくことや、活動を見守り、継続できるよう、時に声かけを行う。

3 単元の計画

(1) 自立した活動が行える状況作り

ア 見通しをもてるように

- ① ツリーボードのイメージを持ちやすいように、完成見本として前年度に製作したツリーボードを柱に取り付けておく。
- ② 日程がわかるように単元カレンダーを教室黒板に提示する。

イ 意欲的に取り組めるように

- ① テーマを共有できるように「大きなツリーボードを作ろう！」という目標に向かって共に活動する。
- ② 自分たちのツリーボードという意識を持ちやすいように、オーナメントの形は生徒の案を生かす。
- ③ 得意な活動に取り組めるように、分業により仕事を進める。
- ④ 活動の成果をわかりやすいように、活動や出来映えをほめる声かけをする。

ウ 活動が継続できるように

- ① それぞれの作業を主体的に行えるように、安全とやりやすさに配慮した状況を整える。  
(ハンドソーのガード、補助台、粉塵吸引装置)
- ② 必要な支援をすぐに行えるように、支援しやすい距離で共に活動する。

エ 満足感、成就感が味わえるように

- ① やり遂げた満足感をもてるように、自分の仕事としてやりがいを感じることができるよう、特徴のある作業を分業で行う。
- ② 完成時に、みんなで柱に取り付ける。
- ③ 完成を祝い楽しめるように、最終日、オーナメントに色や模様をつけて飾り、完成パーティーをする。
- ④ 完成の喜びを多くの人と分かち合えるように、翌月には多くの人を招待し、交流できる機会を設定する。

(2) 作業計画

月 日	曜	主 な 活 動	関連する活動
10 / 31	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の生活テーマの把握。</li> <li>・前年度のツリーボードの取り付け。</li> </ul>	
① 11 / 4	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業場作り</li> </ul>	
② 11 / 5	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙に合わせて、本体ベニヤ板にしるしつけ。</li> <li>・本体柱の印付け。</li> </ul>	
③ 11 / 6	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体ベニヤをカッターで切る。</li> <li>・本体柱をのこぎりで切る。</li> </ul>	
④ 11 / 7	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体ベニヤに直径20cmの穴を開ける。</li> <li>・木製と布製のオーナメント作り開始。</li> <li>・本体柱とその取り付け部分に穴を開ける。</li> </ul>	
⑤ 11 / 10	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナメントをかける部分の部品を作る。(本時)</li> </ul>	
⑥ 11 / 11	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体や木製オーナメントにやすりをかける。</li> </ul>	
⑦ 11 / 12	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンキでべた塗り。</li> </ul>	
⑧ 11 / 13	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンキでべた塗り。</li> </ul>	
⑨ 11 / 14	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の組み立て。</li> <li>・ネジ部分の色塗り。</li> </ul>	
⑩ 11 / 17	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチルームの柱に取り付ける。</li> <li>・完成パーティー。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の招待に向けてポスターを作り掲示する。</li> </ul>
⑪ 11 / 18	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売用オーナメント作り (~12/5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状、看板作り。</li> </ul>
⑫ 11 / 19	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>※販売は学習発表会と期末面談中 (12/15 ~ 12/18)</li> </ul>	
⑬ 11 / 20	木		
⑭ 11 / 25	火		
⑮ 11 / 26	水		
⑯ 11 / 27	木		
⑰ 11 / 28	金		

#### 4 本時の計画

##### (1) 願い

ア ツリーボード作りのそれぞれの分業に集中し、継続して取り組んでほしい。

イ オーナメントとそれをかける部分を作り上げてほしい。

##### (2) 展開

	生徒の活動	支援上の留意点	道具など
1	<p>道具や材料を準備する。</p> <p>〈Aさん：ハンドソー〉 ・ベニヤ板を切り、木製オーナメントを作る。</p> <p>〈Bさん：ハンドソー〉 ・角材でオーナメント取り付け部分の部品を作る。</p> <p>〈Cさん・ミシン〉 ・布を縫い、布製オーナメントを作る。</p>	<p>・それぞれの作業が順調に開始できているかに留意し、必要に応じて声がけをする。</p> <p>・生徒の活動、安全に留意しながら、教師も作業をする。</p> <p>・Bさんの作業が早く終わった場合、Aさんと同じ作業に移行する。</p> <p>・作業のペースや集中はそれぞれなので、個に応じた励ましを行う。</p>	<p>・定規 ・鉛筆 ・ゴミ箱</p> <p>・定規 ・鉛筆 ・ゴミ箱</p> <p>・チャコペンシル ・20 cmものさし ・糸切りばさみ ・ピンセット ・ゴミ箱</p>
2	<p>道具や教材の後片づけ、掃除をする。</p>		<p>・掃除用具</p>

(3) 支援計画

<p>これ ま で の 様 子 と 本 単 元 で 期 待 す る 姿</p>	<p>今年度は、(略) ○○組も集団生活となった。互いに刺激を受け、切磋琢磨する日々である。</p> <p>新学年スタートの4月は、「○○ぐみPR大作戦！」と称して、パン作りをして先生方へブレゼントを行った。5月は季節を楽しみながら8キロを歩くハイキングでたくましさを見せた。6月は、「畑を作ろう！みんなで工事」と、もと芝生の草むらを畑にして野菜の苗を植えた。楽しいことや楽なことがほとんどない作業であったが、それゆえに頑張った実感や一日を働いたという安堵感がみえる表情の日々であった。7月・8月の「手打ちうどんを作って、流しうどん大会をしよう！」は全くのお楽しみであったが、手打ちうどん作りは各自が全工程を行い、個性的な麺を作り、満足していた。孟宗竹を使っての流しうどんは、いろいろな方が来て下さり、ともに季節と手打ちうどんを堪能した。9月・10月は○○祭の販売に向けた作業を行った。牛乳パックを原料にした紙漉では分業による流れ作業で、それぞれの作業に集中し、よい連携ができた。ミシンによる縫製では、作業に違いはあるものの、みんなで袋をたくさん作ったという感覚で作業を終了することができた。</p> <p>本単元でも、それぞれの作業にやりがいを感じ、「がんばった！」「できた！」という実感や、最終的に「はみんなで作った」という満足感で心ふくらむ活動となってほしい。</p>
<p>生徒 の 様 子</p>	<p>ア 額縁の制作（大きな音にも慣れ、印に合わせて切ること・縫うことに努力している） イ 完成（「やったー！」「すごいねえ」と喜ぶ） ウ 案内状作り・宣伝活動（交流の場に入っていくことには抵抗感が強いが、自分たちの生活の披露や招き入れることには意欲的である）</p>
<p>願 い</p>	<p>ア ツリーボードの製作（それぞれの作業にやりがいを感じ主体的に活動してほしい） イ 完成（完成の喜びを共にしたい） ウ 案内状作り・宣伝活動（12月の招待・販売に向けた活動に意欲を持って取り組んでほしい）</p>
<p>手 立 て</p>	<p>ア 各自が主体的に活動できるよう、作業に必要な道具や作業場等の環境を整備しておく。 イ 苦手な作業が多くなならないよう、部分的に担当がカバーする（印付け・直線縫い以外のミシン縫い等） ウ ベニヤ板にはあらかじめ補助になる切り込みを入れる。 エ ハンドソーの刃の周りを透明なペットボトルで覆い、指が刃に触れないようにする。 オ 活動全般に意欲がもてるよう、特に一週目の活動での励ましをする。（作業中・作業の区切り・完成時） カ 最初に前年度のツリーボードを設置し、活動に見通しがもてるようにする。</p>